



**【受式者】** 三浦 花観（みうら はなみ）さん（左）28歳

[岡崎教区第7組勝鬘寺門徒]

**【法名】** 釋尼深心（しゃくにじんしん）

**【受式者】** 武藤 滉英さん（むとう こうえい）さん 15歳（中央）

[大垣教区第14組善正寺門徒]

**【法名】** 釋隨應（しゃくずいおう）

**【受式者】** 竹中 来翔さん（たけなからいと）さん 16歳（右）

[北海道教区第4組大願寺門徒]

**【法名】** 釋来翔（しゃくらいしょう）

毎年3月末に「大谷スカウト名誉奉仕訓練」が同朋会館を会場に開催され、全国にある大谷スカウトの団から、中学生・高校生が参加しています。3泊4日、寝食を共にしながら、仏教や浄土真宗についてのお話を聞き、班別で話し合ったり、日程中、ご旧跡をめぐるハイキングや、レクリエーションでは仏典童話をもとにした劇を参加者が演じる時間もあります。さまざまな体験を通してお念仏の教えにふれる研修会です。日程中に帰敬式を受式した3人（スカウト2人、スタッフ1人）にお話をお聞きしました。

**—帰敬式を受式しようと思ったきっかけを教えてください。**

**竹中さん** 小学生からスカウト活動でお世話になっている団委員長であるお寺の住職さんから「帰敬式を受けてみないか？」と声をかけてもらいました。

**武藤さん** 一昨年、ひいおばあちゃんが亡くなりました。ひいおばあちゃんは、お内仏での朝夕のお勤めを欠かさず、仏さまのことを大切にしていました。僕に「生きている間に法名をいただいてほしい」と何度も言ってくれていました。ひいおばあちゃんの言葉がずっと心に残っていたことと、これからも仏教について学んでいきたいので、生きている間に法名をいただきたいと思って、受式を決めました。

**三浦さん** 自分が参加者だった時は受式しなかったんです。社会人になって、介護の仕事を  
する中で、生と死について考えることが多くなりました。祖父二人も亡くしました。私は  
これからどう生きていったらいいのかな…悩む時間もあって。同朋会館に来て、日程を過  
す中で、これからの人生を生きていく上で、自分自身を見つめ、再出発したいと思い、二日  
前に受式を決めました。私が仏教に触れられたのは大谷スカウトがあったからです。だから、  
大谷スカウトの仲間に見守られて受式できて、本当にうれしかったです。

**—これから大切にしたいことを教えてください。**

**武藤さん** 宗教って、形のないものなのに人の心を動かすことができる。なぜここまで人を  
魅了することができるのかな、教えは心にどうやって入っていくのかなと考えていました。  
3泊4日を通して、仏さまの教えに触れて、いろんな角度から物事を考えることの大切さを  
感じました。まだまだわからないことばかりなので、これからも学び続けていきたいです。

**竹中さん** いろんなことを自分中心でしか考えていない姿に気づきました。すぐには変わ  
ることはできないと思うけど、振り返ることを忘れずに生きていきたいです。

**三浦さん** いただいたいのを大切に、今日の日をよろこびを忘れず、他の方のための奉仕  
を続けていきたいです。